



シアトル留学体験記

機械工学科3年 原田 恭輔

私は3年次前期に航空宇宙学専攻留学プログラムで、3月下旬から半年間アメリカのシアトルにホームステイした。私がこの留学を決めたのは二つの理由があった。一つは英語が話せるようになりたかったこと、もう一つはこれまでの住み慣れた土地を離れ全く異なる環境に自分を置くことで精神的に成長したかったということだ。ただその決意とは裏腹に、はたして半年という限られた時間の中で目的を遂げることができるのか半信半疑の自分も事実だった。まあ実際にはその疑念は良い意味で裏切られるわけなのだが……。

CA(客室乗務員)さんに自分の英語が通じない。ホストファミリーに会っても彼らが何を言っているのか分からない。そんな状態から始まった私の留学生活だったが、他の国からの留学生たちがとても上手にコミュニケーションを取っているのを見ていてあることに気が付いた。「彼らは英語を堂々と話している。」彼らの英語を注意深く聞いてみると、英語の構文が完璧ではないし、時には間

先生(下)、英語クラスの仲間と(右)



セスナ172での体験飛行も(左)

違った文法も使っていた。それでも彼らは気にする様子もなく話し続けていた。つまり、英語を意思伝達のための「ツール」として考えているのだ。それを知ってから私は、英語を話すということに対するハードルが下がり、英語でコミュニケーションを取ることが楽しくなっていた。また、アメリカで生活をし、様々な国の人たちと交流をすることで、あらためて自分の出身国である日本を意識し誇りを持って接するようになった。今では半年間の短い期間だったが、自分の視野を広げることが出来たと確信している。

学生のおすすめ本

ピーター・アトキンス『万物を駆動する四つの法則：科学の基本熱力学を究める』

ロボット・メカトロニクスシステム専攻
大学院博士前期課程1年 庄司 輝秋

機械系の学生が学ぶ4つの力学—機械力学・材料力学・熱力学・流体力学—のうちで最も苦戦する人が多いといわれているのが熱力学です。また、化学系の学生も「化学熱力学」という形で熱力学に触れることが多いかと思えます。

一般的に、熱力学というのはほかの3つの力学と比較して、現象が目に見えて観測されるものでなかったりするので、少々概念的な話が多いです。先生方にはあまり心象の良くない話かと思いますが、個人的にも熱力学は抽象的な話が多くてどうにも掴みづかった、というのが感想です。

この本は、そういった悩みもすぐに解決できる！という本ではないです。ですが、温度の概念などの基礎



ピーター・アトキンス『万物を駆動する四つの法則：科学の基本熱力学を究める』
早川書房
図書館2階書架に所蔵
(請求記号 426.5||A)

を解説しているため講義を受けているときの副読本や復習時にはうってつけの一冊となっています。数式は必要最低限しか出てこない代わりに、熱力学の歴史的な流れなども記述されていたりして、一般的に言われる教科書・参考書とは違った熱力学を巡る旅ができます。法則や数式の説明についても比較的わかりやすい表現が多用されています。新しく熱力学の講義が始まる方、この本を片手に熱という概念に挑戦してみませんか？

最後に、タイトルでは“4つ”の法則として示されているのに、熱力学の法則は“3つ”という点に気付いた人はぜひ読みましょう！

図書館 Café

発行 / 神奈川工科大学附属図書館 2015.1.1



第4号

Vol.4 No.1

私の読書観

副学長/ホームエレクトロニクス開発学科教授
森 武昭

私は、学部・大学院を通して、指導教授の先生から、「専門書を学ぶなら、その分野のバイブルと言われている名著を読みなさい」と奨められた。そこで、電気工学を学ぶ上での最も基礎となる電磁気学については、竹山説三著『電磁気学現象理論』(出版社：丸善)で勉強した。この本は未だに理解できない箇所が多数あるが、実に電磁気現象を多岐にわたって詳述していて、電気工学の素晴らしさを痛感した一冊である。もう一冊は、さらに電力工学のことを学びたくて、林重憲著『Surges on Transmission Systems』(出版社：電気書院)を勉強した。日本人が英語で分かりやすく書いている上に、今ではコンピュータで分析できる時代になって、その内容は陳腐化したと言えるが、数学力を駆使して、実にスマートに問題解析を行っていく手法に魅了され、自分もこの道を選ぶことを決心した書である。最近の学生は、ネット社会で育ってきたので、私の時代とは異なっていますが、本当に専門分野を勉強するには、良い書に接することが大事であることには変わりはないと思っています。

私の趣味は山登りです。最近では、自宅の本棚には山岳関



たけやま せつぞう
竹山 説三『電磁気学現象理論』丸善
図書館2階書架に所蔵(請求記号 427||T)



係の書籍が多く並んでいます。こちらの方は乱読で、表題と目次で気に入った本を片っ端から読んでいます。山岳書は、登山ガイド、技術書、文学書など実に幅広く、私は「山岳書は、文学も含めた総合科学書」だと日ごろから主張しています。したがって、どの本からも必ず得るものがあり、知識習得の部分もありますが、自分自身の人生観の一助となっていると感じています。学生諸君もパソコンやスマホを横において、図書館や書店で自らが興味を持つような本を乱読してみてください。

私の読書観は、「専門はその分野のバイブルを、趣味の世界は乱読を」ということであり、学生の皆様にはお勧めしたいと思います。

学生時代のこの一冊

むらかみはるき 村上春樹『ダンス・ダンス・ダンス』

基礎・教養教育センター准教授 師玉 真理

大学なんて「やめっちゃまってもいいや……」てな感じで至極やさぐれていたときに出会い、そんな荒んだ心を宥め支えてくれた本。

僕は小説を読み返すことを殆どしない。けど唯一この本だけは、以来幾度となく人生にやさぐれては読み返してきた。おそらくこの本がなければ違う生き方の選択になっ

てたな……って、大げさな物言いではなく文字通りにそう思う。

自分に係わるいろんなものに、《自分の考えていることや、自分の求めていることや、他人が要求していることや……そんなことに》馴染めないと感じたことのある人に薦める一作。「それで僕はいったいどうすればいいんだろう？」——その答えがここにある。

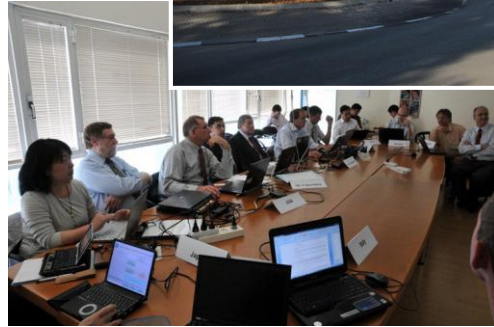


村上春樹『ダンス・ダンス・ダンス 上』
講談社(請求記号 913.6||M||1)
村上春樹『ダンス・ダンス・ダンス 下』
講談社(請求記号 913.6||M||2)
図書館2階書架に所蔵

イスラエルでISO会議

情報工学科教授 松田 三知子

テクニオン構内
(訪問した建物
近くのバス停
前)



ISO会議の様子
(左端が筆者)



ホテルバルコニーからのハイファ眺望

ハイファという地中海に面したイスラエル北部の都市にあって、イスラエル唯一の国際空港があるテルアビブから空港バスで1時間半程度です。日本からパリ経由で長旅の末、無事に高台にあるホテルに入って最上階のラウンジバルコニーから一望したハイファの町は地中海に映えていました。ハイファは比較的平穏な地域と言われていますが、街中になると、自動小銃を持った人がいたり、マーケット入口では手荷物検査をしていたりで、イスラエルが抱える国内外の緊張を感じながらテラスレストランでとった最初の夕食は忘れられません。ホテルと広大なテクニオン構内各所間は路線バス



最初の夕食はイスラエル風?カニピラフ

かタクシーです。滞在中は政治的なイベントもあり、交通規制も行われていました。そのエリアにホテルが含まれていて、その日の帰路、会議参加者達はコンピュータを抱えてスーツ姿でホテルまで徒歩で長い坂上りをするはめになりました。その夜は、安全上ホテルから出ずに、高台からハイファの町を眺めていました。

国際標準化機構 (ISO) の仕事に携わって 24 年目になります。最近では ISO の国際規格 (IS) に準じて日本工業規格 (JIS) を制定しますので、図書館でみて下さい。

2000 年からは ISO/TC184/SC5/WG4 (生産ソフトウェア環境) のコンピナ (主査) を務めています。そのため、年 3 ~4 回程度、海外での国際会議へ派遣されます。会議では、ひたすら国際規格原案作成作業のため、世界中どこへ行っても観光とは無縁なのですが、それでも、食事や買い物に出かけた折、ホテルと会議会場間の移動時、ホテルの部屋からの町の眺めなどに異国の文化を感じる機会があります。ISO 会議故に訪れる機会を得た地のひとつであるイスラエルについて綴りたいと思います。



2012 年 5 月、WG4 会議と SC5 会議がイスラエル工科大学 (通称: テクニオン) で開催されました。テクニオンは

先生おすすめの 1 冊

たかはしけんじ
高橋健二『ゲーテ格言集』

自動車システム開発工学科助教 加藤 俊二

ゲーテは、短いことばに深い含蓄^{がんちく}を織りこむことを好みました。作品の中に意味深いことばが見出されますが、独立した形で格言や警句を数多く書いています。

本書では、編訳者のあとがきにあるように、ゲーテの全著作の中からと最初から格言や警句として独立に書かれたものの中からほぼ半々にことばが選ばれています。

「幸福について」、「人生について」、「経験の教え」など私たちが関心を持ち、親しみやすい項目に分けて排列され、1 行から数行程度の格言が数多くおさめられています。この中からいくつか紹介すると、①「目標に近づくほど、困難は増大する」、②「経験したことは理解した、と思いこんでいる人がたくさんいる」、③「寛大になるには、年をとりさえすればいい。どんなあやまちを見ても、自分の犯しかねなかったも

わたなべかすこ
渡辺和子『置かれた場所で咲きなさい』

栄養生命工学科教授 饗場 直美

この本は発行から一年で累計売上部数 100 万部を超えたベストセラーです。この本の著者は私が大学の時に教えを受けた師であり、私自身の人生において非常に影響を受けた人です。

聖職者である著者の生き方は、当然キリスト教に基づいた生き方であり、この本の中にも聖書からの引用が多くあります。加えて心理学に基づいた考え方が展開され、広く人の心理を理解し、考え方の方向転換の仕方や物事を多方面から見る事の大切さが語られています。生きてゆく上で悩みのない生活はありません。その悩みの中で、自分を見つめ、自分の道を選択し、進んでゆくしかないのです。悩んでいる時こそぜひこの本を読んでほしいと思います。

この本の題名でもある “Bloom where God has planted you. (置かれた場所で咲きなさい)” という文章にあるように、その場所が今あるあなたの居場所であり、そこで「咲く」こ



高橋健二『ゲーテ格言集』新潮文庫
図書館 1 階回転書架に所蔵
(請求記号 B947|G)

ゲーテ (1749-1832) ドイツの詩人、小説家、劇作家。フランクフルトに生まれ、ライプチヒ、ストラスブールなどの大学に学んだのちシュトルム・ウント・ドラングの芸術運動に参加。二五歳のとき「若きウェルテルの悩み」で一躍名声を博し、詩、小説、戯曲などに数々の名作を生んだ。
【ジャパナレッジ (図書館データベース) 『日本国語大辞典』より】

のばかりだ」などがあります。皆さんも学生生活の中で①、②についてその様に感じることはないのでしょうか。③について、私自身、歳を重ねるごとにそう思えるようになりました。

年齢やそのとき置かれている状況でことばの感じかたは異なります。若い皆さんもぜひ手元において、時々読み返すことをおすすめします。



渡辺和子『置かれた場所で咲きなさい』
幻冬舎
図書館 2 階に所蔵
(請求記号 159|W)

渡辺和子 (1927-) 教育総監・渡辺錠太郎の次女として生まれる。56 年、ノートルダム修道女会に入りアメリカに派遣されて、ボストン・カレッジ大学院に学ぶ。ノートルダム清心女子大学 (岡山) 教授を経て、90 年 3 月まで同大学学長。現在、ノートルダム清心学園理事長。
【『置かれた場所で咲きなさい』著者プロフィールより抜粋】

とが、未来の自分を作り出すことにつながることを伝えています。

悩んでいるときや、躓^{つまず}いたときだけではなく、少し安心したいときにぜひこの本を開いてみるとよいと思います。きっと心が軽くなって、道が見えてくると思います。